

現場見学会

岩国工業高校／都市工学科



魅力を肌で感じ、将来のイメージを確立へ

もらいました。東日本大震災や熊本地震を身

土木・建設分野を学ぶ高校生に建設業の現場の魅力を感じ、社会基盤整備の必要性を考えてもらう機会として（一社）山口県建設業協会では山口県土木建築部と共催で毎年建設現場見学会を実施しています。今回は平成28年6月14日、岩国工業高等学校・都市工学科の1年生、35名（男子34名、女子1名）が参加した現場見学会を取材しました。

はじめに訪れたのは都市計画道路環状一号線の現場。一般国道2号を起点に防府市街地南側の臨海部を経て、都市の外郭を形成する環状道路です。交通渋滞の緩和や沿線の土地利用の促進とともに、国道2号と重要港湾三田尻中関港とのアクセス性を向上させることで、物流の円滑化を図る役割を担っています。

参加した生徒さんたちは、地盤改良の施工方法に使用されているスーパージェットと呼ばれる補強土壁工法や、道路下に埋設し、



主に下水及び排水用管路と地下道として使用される施工中のボックスカルバートの説明を受け、図面と実際の現場を何度も見比べながら、初めて聞く言葉にも熱心に耳を傾けていました。



その後、地盤改良された箇所を自分のちの足で踏みしめて強度を実感したり、実際の足場の上がりボックスカルバートを間近で見学する中で、驚きと感動の声を上げていました。

昼食を挟んで、三田尻中関港の港湾改修（耐震岸壁）の工事現場へ。三田尻中関港は国内外の海上輸送網の拠点となる重要港湾で、山口県地域防災計画における災害時の広域輸送拠点（海上輸送基地）にも指定されています。そのため大規模地震などによる被災時であっても変形・変位なく利用できるように、また想定最大規模の地震直後からでも緊急物資の輸送を可能にするために、耐震強化岸壁の整備が行われています。

工事現場を目の前に、現場担当の方から事業の概要の説明をして

近に感じたこともあり、防災安全対策の岸壁工事について生徒の皆さんはメモを真剣に取り理解を深めている様子。

また海の環境対策についての取り組みや、工事にかかる費用など色々な角度から積極的に質問が飛び交っていました。現場見学を終えて生徒さんからは「初めて現場を見てスケールの大きさに感動しました」、「工事が完成する時の喜びや達成感に魅力を感じ、こんな仕事をしたいと思いました」などの声がかれました。

引率された同校の上田岳史先生は「早い時期から建設業に魅力を感じ、イメージを確立するために本校では一年次から現場見学を実施しています。生徒が学校を出て



上田先生

普段見られない現場を見学し、働く人から生の話を聞くことは、授業や教科書では学ぶことが難しい、建設業の魅力を感じることになる大変貴重な体験です。これからの進路選択の参考になればと思っています」と生徒の皆さんに期待しておられました。

今回の経験によって建設業界への関心と理解が深まり、希望する道を見つけてくれることを願っています。

2016年度 高校生現場見学会 参加校（延べ10校 336名）

土木系学科	工事名	実施日	対象生徒	学校名
	錦川総合開発事業平瀬ダム工事	5月25日	42名	徳山商工高校（保護者7名）
	(都)環状1号線街路整備工事 三田尻中関港港湾改修工事 三田尻中関港海岸高潮対策工事	6月3日	26名	下関中央工業高校
	県道美祢油谷線道路改良工事 国道435号(美祢～豊田バイパス)道路改築工事	6月10日	22名	萩商工高校
	(都)環状1号線街路整備工事 三田尻中関港港湾改修工事	6月14日	35名	岩国工業高校
	錦川総合開発事業平瀬ダム建設工事 徳山下松線荒神大橋橋梁補修工事	8月25日	40名	山口農業高校
	錦川総合開発事業平瀬ダム建設工事 岩国大竹線 道路改良工事	11月4日	34名	田布施農工高校
	合計	6校	199名	

建築系学科	工事名	実施日	対象生徒	学校名
		5月23日	30名	下関中央工業高等学校
	山口県立山口高等学校 特別教室新築工事	6月9日	32名	萩商工高等学校
	山口県立大学学部共通棟 新築工事	6月14日	34名	岩国工業高等学校
		6月22日	41名	柳井商工高等学校
	合計	4校	137名	